

# 普連土学園校友会報

平成27年2月15日

普連土学園校友会発行

電話 03-3451-7700

第 93 号

東京都港区三田 4-14-16 郵便番号 108-0073

FAX 03-3451-1959

責任者 富山 恵子

E-mail: f-koyukai@dance.ocn.ne.jp



## 国際条約の力

普連土学園元学園長 59 回生 野瀬久美子

目次
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート
クリスマスコンサート

私は五九回の卒業生です。この度傘寿を迎えまして、校友会から一人一人にお祝いのお言葉と、浦口先生が描かれた絵葉書「野の花」をお贈り頂きまして、心から御礼を申し上げます。思えば私たちが在学したのは戦後の混乱期でしたが、校友生の先生方や、ローズ校長先生のご薫陶のもと、フレンド派の精神に根ざした大らかな教育を受けさせて頂くことが出来ました。

普連土学園は女子校ですから、生徒活動は当然女子のみで行われて来ました。記憶に鮮明に残っているクラス礼拝は、生徒が司会をし、讚美歌を選び、感話を述べる、緊張した

時間でした。奉仕活動や学園祭なども、生徒が熱心に取り組んでいます。女子だけの自治でおこなう活動は、方針の決定や運営の力を養う良い機会となりますが、卒業して社会に出れば、就職先で、或いは政治や経済の分野で、男性が決定権を握ることが多いのが日本の社会の現状ではないでしょうか。

世界の統計によりますと、例えば日本の衆議院の女性議員の数は、対象の一三六国中、一〇四位という低さです。女性の参加が遅れている国は、まだまだ多くあります。先般バキスタンのラマラ・ユスフザイさんは、女兒が教育を受ける権利を、身をもって訴えた功績から、ノーベル平和賞を授与されました。

こうした女性に対する差別を撤廃するため、国連は一九七九年に「女子差別撤廃条約」を制定し、日本は一九八五年に、条約の加盟国になりました。加盟国は、あらゆる分野、家庭生活や保健に関しても、男女の平等を基礎として、人権や基本的自

由を保障することが規定されています。更に、四年に一度、この条約が定めている「女子差別撤廃委員会」に、国の女性の状況を報告する義務を負っています。

最近「女性が輝く社会の実現」という言葉をよく耳にします。政府は、二〇二〇年までに女性管理職の比率を三割以上にするという目標を掲げて、「女性の活躍推進法案」を作成しました。実はこれは、「女子差別撤廃委員会」が日本政府の報告を審査した際に、政治、経済、司法の面で、女性の管理職への参加があまりにも少ないので、「二〇二〇年までに女性の参加数を引き上げるための数値目標」を作って、二〇一四年の夏までに回答するようにと迫っていたのです。この目標を実現するには、三〇%の割り当てを受ける女性の側にも自覚と努力が必要とされると思っています。

最近の普連土学園の卒業生は、進学校や、専攻分野の選択も、多方面に伸びて、深く熱心に実績を残していると聞いています。国際条約の追い風を受けて、女性だから男性だからではなく、一人一人が与えられた力を存分に伸ばして、将来に役立てられることを願っています。

ナザレ村のヨセフは、ある日婚約者のマリヤから妊娠したことをうちあけられます。それが自分の子でないことははっきりしていました。でもその夜ヨセフは夢を見ます。それは天使が「マリヤの胎の子は聖霊によつて宿ったのである」と告げる夢でした。このマタイによる福音書に

## 校友会クリスマス礼拝 「ヨセフと夢」

元普連士学園聖書科非常勤講師  
日本基督教団 代々木中部教会牧師  
北川 正弥

記されている、ヨセフへの天使の告知の場面は、ルカによる福音書に出てくる、マリヤへの天使の告知の場面とは大きく違います。マリヤの前には直接天使があらわれています。ヨセフの場合、天使があらわれたのは夢の中だったので、私

達だって、目の前に天使があらわれたら信じるでしょう。でも夢の中なら何が現れても不思議ではありません。目が覚めたら「夢だったのか」ということになるでしょう。でもヨセフは自分の夢の中に神様の導きを見いだし、それを受け入れ、救い主の父となったのです。救い主の母となったマリヤの信仰は世界中で賞賛されています。でもマリヤの信仰がそれ以上にヨセフの信仰は賞賛されていいのではないのでしょうか。マリヤは実物の天使を見て信じたのですが、ヨセフは夢で見ただけで信じ



全員でハレルヤを合唱

たのですから。そしてそれが出来たのは、ヨセフが日頃から、神様の偉大さを受け入れて謙虚に生きている人だったからでしょう。

一人一人の人間には神様の種がまかれていますといわれます。でも神様は、一人一人に種をまくだけではありません。その種がちゃんと芽を出し、成長し、花を咲かせ、実をつけようように、日々導きを与えてくださっています。ただその導きは、私達の意思とは無関係に、私達を無理矢理正しい方向にひっぱっていくような強引なものではありません。だから私達が残念ながら神様の導きに気がつかない事はよくあるのです。それでも神様はあきらめないで、様々な仕方でも導き続けてくださっています。神様の導きはさまざまな仕方とります。常に夢にあらわれるとはかぎりませんし、すべての夢が神様の導きという訳でもありません。だからその導きに気がつくことが出来る人は幸いです。そのためにも私は私達も人間を創造した、人間を超える存在に対する尊敬、そのような必要です。そのような人が増えればきっとこの世界は今よりも、ずっと良い世界になることでしょう。

### ❖親睦会で講談師に変身

クリスマス礼拝の後の親睦会では北川牧師は、講談師神田ナザレとしてオレンジ色の着物にページユ色の帯という姿で講談を披露されました。「大男サムソンの恋」でした。まるで別人のようなお姿に私共は目を見張り引き込まれました。先生のお声が部屋一杯に広がりが皆夢中になりました。このように聖書の物語を若い人達に伝えていらいっしょるのが、とてもよくわかりました。



親睦会ではサンドイッチと紅茶を頂きながら楽しいひとときを過ごしました。3時間近いクリスマス礼拝を終えて北風のなかを帰途に着きました。

## 南三陸町と共に

106回生 村井 香月



君バスオクトのぐるぐる

東日本大震災から3年以上が過ぎた2014年夏。縁あって、宮城県南三陸町から「復興応援大使」に任命された。町外に向けて町の魅力や復興の現状等を伝えることが主な役割だ。ここでは南三陸町に関わることになった経緯と、私が携わった現地での活動を紹介したい。

震災時は東京で働いていたが、東北の被災地で何かできることが無いかと考えていた。そんな矢先にNPO・ETICの「右腕派遣」プロジェクトを知った。これは、被災地で立ち上がったリーダーと若手社会人を結びつける仕組みで、派遣されたスタッフはETICから生活支援金をもらいながら現地のリーダーの「右腕」として働く。外部支援者を受け入れる側と、支援する側が深く関わり合うことで、良い結果が出るのではないかと思っていたので、

すぐに応募した。南三陸町の団体を選んだ理由は、モノを売る事業をしていたからだ。それまで途上国の商品を日本で販売するフェアトレードの仕事をしていたので、商品を売ってきたノウハウを少しでも活かしたいと考えた。

現地では「南三陸復興タコの会」という団体に所属した。ここでは町の名産であるタコをモチーフとしたグッズを販売し、町興しをしていた。「置く」と（試験に）「パスする」というダジャレで合格祈願としても人気があった。私は広報や視察受け入れ、キャラクター化戦略、ネット販売などの仕事に必死に取り組んだ。

私が右腕として支えたりリーダー、阿部忠義さんは、町を守る使命感に燃えていた。町の将来を憂え、すぐ行動に移す姿を心の底から尊敬している。

町は、震災の影響で人口減少・高齢化が加速しており、内陸にある隣町に移住する人も増えていた。そして、若い人たちは口を揃えて言った。「ここにはなにもない。」しかし、私から見ると豊かな暮らしがそこにはあった。例えば、ある日私が野菜を買って帰ると、下宿させてもらっていた家のおばあちゃんから「野菜は買ってこなくていいんだよ」と笑われた。ここでは野菜を自分の畑で作ることが普通のことなのだ。当時住んでいた入谷地区は内陸にあり、津波の被害は免れた。そのため、震災直後は地元の消防団が自衛隊より先駆けて救出に向かったり、女性たちはおにぎりをひたすら握って助けるなどして、相互扶助的な生活文化がそこにはあった。

南三陸町には1年間滞在したが、「復興支援」に行っていたという言葉はふさわしくない。なぜなら、私自身が助けられ、そして多くの出会いという宝物を得たからだ。

今、私は東京に戻り木材を使った商品を販売する仕事に従事している。

南三陸町は町の8割を森林が占めており、豊かな海を支える源にもなっている。南三陸町の杉を使用し、

加工を現地で行うことで微力ながら地域活性化に貢献している。このようなかたちで縁がなくなり、今も町と関わり続けていられることは幸せだ。



その後、町から「復興応援大使」就任の要請を受けた。南三陸町での暮らしとビジネスの経験を通して、双方を有機的につなげる存在でいたい。そして、これからもずっと、寄り添い続けたいと心に誓っている。

# 今年度バザーが開催されました

## バザーを開催して

校友会バザー委員長

72回生 校係 和子

10月半ば過ぎ、学園の校庭で、バステルピンクやブルーのリボンと衣装をまとい、フォークダンス部の生徒達が、可愛らしく舞っていました。バンブーダンスも健在とか、在学学生時代が懐かしく思い出されました。その、生徒達が力を合わせ頑張った学園祭でした。

今度その校庭や校舎に大勢のお客様をお迎えするのは、私達校友会と後援会(父母会)です。共催のバザーが11月8日に開催され、当日は1320名の方が来場下さり、174名もの校友生がお手伝い下さいました。

今年は特に台風等の悪天候の日が多く開催が危ぶまれ、また地震等の緊急時の避難経路、誘導等も念頭に置きながら当日を迎えました。

少なめの来場者のように感じられ

ましたが、昨年を上回るお買い上げを頂き、やがて学園への寄付とさせていただきます。

数え切れないほど、多くの方々のお力添えの元に、このような大きなスケールのバザーが毎年開催されます事を誇りに思い、皆様とスクラムを組んでいかなければと思っております。沢山のご協力とご助力に心より感謝申し上げます。有難うございました。



## ★バザーに参加した感想

◇卒業以来50年近く会っていないかった同期生に会い、感激しました。

◇今年はまだあまり買物をしていないつもりだったのに、結局両手一杯の買物袋姿になりました。手作りの素敵だったり可愛かったりの品が沢山あったので！

◇バザーの時だけ会う友人達との再会が楽しみです。

◇自分達も年を重ねてきたけれど、毎年先輩達がお元気に活躍なさる姿を拝見して勇気づけられます。長い伝統のある行事がずっと続くことを願っています。



◇毎年同級生3人で参加しています。今年も元気で来られてよかったです。来年もまた会えるといいです。

◇初めて参加しました。校舎が広くなったのに驚きました。迷っていたところを、通りかかった生徒さんが助けてくださいました。

◇幹事の友人たちが熱心に販売しているのに頭が下がりました。買物は主に食品でしたが、とても安かったです。クッキーが美味しかったです。

◇手作りのクリスマススのオーナメントが素敵でした！



## バザーに於ける

### 奉仕部の仕事

61回生 柴田 貴子

奉仕部ってバザーで何をすると疑問に思われることでしょうか。奉仕部は施設に売場を提供し販売活動に協力をするのです。障害を持たれた方々が社会的自立を目指して日々訓練を重ね社会復帰への希望、工賃を得ることで働く喜びを感じる等、販売活動は大変有意義なことで何処の施設でも重要視して居ります。私は区役所内にある「自主生産品コーナー」や、ご紹介下さる施設・作業所を訪問見学し品物を選びます。指導員・支援員の大変さ、そして作業に熱心に取組む施設利用者達の姿を目の辺りにしますと沢山応援してあげたい!!という気持ちになります。単純作業の製品ですが、その中には、不自由な体で一生懸命作業に打ち込む。心がいっぱい詰まっているのです。売上金は総て各施設にお送りします。「施設にとって有意義な活動への協力を感謝します。」また完売したとの報告に「皆歡声を挙げ手をたたいて喜

### 奉仕部って?

びました。」等々施設責任者の方からのお礼状を頂きますと、私達も良かった!!と、うれしくなります。微力ながら、これからも個々を頑張っていかれるよう願っています。

### 「施設を訪ねて」

76回生 田中 晴子

奉仕部の責任者を来年度から引き継ぐことになり、私は61回生の柴田貴子さんと施設4ヶ所を訪問しました。最初の訪問先は「STORY」でした。ここは、アルコールや薬物依存症からの回復をめざし、社会適応訓練を行う組織です。リサイクルショップを運営して、販売員として働いたり、バザーで販売した万能石鹸や牛乳パックから葉書、名刺等を制作しています。近隣にショップはあるようですが、地域の人の理解、支援もあり、「STORY」へのリサイクル品を持ち込んで載っているとのことでした。ここでの訓練は、就労時間を遵守したり、無断欠働をしないなどの自己管理、人間関係を築くなどの、社会復帰へのサポートでした。

同様の訓練所では、就労センター

「街」を訪問しました。ここではクッキーの他、パンを製造していて、喫茶店の運営も行い、地域の人々との交流の場となっています。接客やパンの製造を通して、自閉症などの人間関係を上手く構築できない人達の社会適応訓練の場所となっています。日頃、あまり意識したことのない身体的に弱い人々のことや、その人々をお世話している若い職員さんがいらっしやることに改めて、心を動かされました。



### 2014年度バザー売上報告書

2014年12月20日  
単位：円

摘要	売上	仕入	収益
アクセサリー	109,320	0	109,320
委託品	1,530,352	1,066,262	464,090
手芸	290,900	0	290,900
雑務	682,746	41,580	641,166
総計	30,900	6,742	24,158
合計	2,644,218	1,114,584	1,529,634

奉仕部	単位：円
社会福祉法にかがやき会就労センター（クッキー・ラスク）	30,200
社会福祉法人武蔵野会世田谷区立駒沢生活実習所（消臭ボンボン）	9,000
特定非営利活動法人STORY（石鹸2種類）	10,500
合計	49,700

92  
回生の  
同窓会

私ども92回生は、去る6月8日(日)芝パークホテルに於いて同窓会を開催致しました。10年前に第1回を開催して以来の同窓会でした。今年も卒業30年の節目、子育ても一段落した年代でもあり、49名もの参加となりました。残念ながら都合

## クラス会レポート

今年も多くの回生でクラス会が開かれました  
3つの会合の様子をお知らせします

のつかなかった方も、先生も含め40名以上が一言メッセージを下さり、皆さまそれぞれに活躍されている様子がうかがえました。

谷田貝常夫先生、太田信雄先生、浜野能男先生とは本当に久しぶりの対面で、「女子高生だった当時とあまり変わっていない

(はず)。でも、わかっていただけるかしら。」と不安もありました。しかし長年女子に囲まれてお過ごしの方、卒業アルバムをご持参いただくという準備万端ぶり！全員の出席を取り、お互い名前と顔を再確認した

うえで懇談となりました。先生のテーブルには、時が経った今だからこそ笑える思い出話をしに次々と元・生徒たちが集まり、先生方も大忙しでした。浜野学園長からは、普通連士学園の近況を教えてくださいました。購買部は今もそのまま健在ですよ、との情報に一同安堵し、自動販売機が設置された、とのお話には、当時の女子高生に戻ったかのごとく、「えーっ、ずるーい！」と大騒ぎでした。

和やかで懐かしい2時間は瞬く間に過ぎ、名残りを惜しみながらのお開きとなりました。今回は東京オリンピックの頃かしら、との幹事の弁ならば、それまでに美しく変貌して



卒業30年目の再会

みせるわ、と決意表明した人も。これを機会に、今後も連絡を密にし、かけがえのない友情を温め続けていきたいと思えます。(小倉 晴子)

52B  
回生の  
クラス会

ねえ！学校の建物が見たいの!!とホームに長いことおられる岩沢千恵子さんの強い希望があり、級会開催を考えた。10月2日(木)校友会室に、お弁当、お茶パック他を配達してもらった。

13名の友が集ったのが11時、岩沢さんは車椅子でケアマネージャーとホームの車が見えた。即おしゃべりが始まったが、卒業以来念願の礼拝をローズホールで開かせていただいた。鯛鍋栄子さんの慣れた手で強く讚美歌が奏でられ、昔の生徒時代を思い出したのではなからうか、お話しは牧師竹前昇(故人)の本から「いかなる日々をも」を読んでいただいた。私達にとって適切な指針であった、そして聖書が読まれ祈りを捧げた。

昔は時間どおりに動けたのになと思いつつ建物を見学する暇もなく、お昼食とおしゃべりに入った。懐かしの普通連士に集まったこと、耳も速かったり、声も小さかったりで、経てきた年月を考えれば味が滲みでた

ような時間となった。

結果的には新渡戸稲造ホールを覗く時間もなく3時となり、帰宅に向かった懐かしの一日であった。

学校にも感謝、校友会事務所にも感謝しております。ありがとうございました。(青木 慶子)



生徒時代の思い出

51  
回生の  
クラス会

6月26日(木)に51回生のクラス会が第1会議室で開かれました。当日は9人の方が出席されました。



母校に集まることになりました

普連士たより 学校近況

百六十四信

8月7日から18日の12日間、フレンド派の創始者であるジョージ・フォックスの信仰と足跡をたどり、英国の文化にふれる第18回ジョージ・フォックスツアーに高1、高2の26名が参加し、現地のフレンド派の方々との交流を深めました。

10月3日の創立127周年記念礼拝では、楽天株式会社に勤める100回生の村松由美子さんが、「普連士で学んだ社会で生き抜くために大切なこと」と題して、自分の本質と礎・学校の勉強は何の役に立つのか・教養の三つの視点から、在校生を勇気づけるメッセージを送ってくださいました。

第52回学園祭(10月24・25日)のテーマは「Trump」でした。英語でカードの中の「切り札」を意味するこの言葉には、トランプが一枚一枚異なり、それぞれに意味や役割があるように、かけがえのない存在である生徒一人ひとりが、互いにアイデアを出し合い、一致団結して最高の学園祭を作り上げていこうという思いがこめられています。公開日当日は天候にも恵まれ、2日間で来場者数は3764名にもなりました。

11月8日には後援会・校友会共催のパザールが開かれました。当日の天気は曇りで小雨が降る時もありましたが、多くの校友生、受験生、保護者の皆様が来校され(1320名)大盛況でした。皆様の御協力と御支援で無事終了することができましたことを心より感謝申し上げます。

11月13日には宗教講演が行われました。今年度はマリアの宣教師フランク・シスターの小田美津江さんがお話をしてくださいました。シスターは、大飢饉や内戦に苦しむエチオピアに21年間滞在し、修道会の仲間とともに看護師として現地の人々の医療活動に献身的に取り組みされました。自分ではどうしようもない困難や苦悩に見舞われた時、シスターの前に美しい虹があらわれ、イエス様の声を感じ導かれていったというお話が印象的でした。

12月になり、講堂にはクリスマスツリーが飾られました。学園では、クリスマスの本当の意味を考えるために、クリスマス献金やプレゼント集め、5日間の特別礼拝を行い、22日にはクリスマス礼拝を迎えます。

(大井 治先生記)

“ジャズで讃美歌を！”

クリスマスコンサート♪



昨年11月29日(土)A音楽室にて、ピアノ小坂直輝さん・ベース塩見暁俊さんによるジャズコンサートが行われました。当日はあいにくの雨模様

様にも関わらず校友会・後援会の皆様が80名近く参加され、素敵なジャズのクリスマスソングに浸りました。  
(事業委員 川村 美保)

部 奏 曲 部  
演 奏 曲 部  
久 小 星 小 星 小 星  
も ろ さ 小 星 小 星  
る も さ 小 星 小 星  
る も さ 小 星 小 星  
る も さ 小 星 小 星



80歳になりました

昭和21年に入学され、同27年に卒業された59回生の皆様が80歳になら

れました。  
今年も浦口先生のお描きになった花絵葉書を39名の方にお贈りしました。何人かの方からお礼状を頂いております。

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

# 校友会だより

## ◆校友会総会のお知らせ

2015年度の校友会総会を左記の要領で開催いたします。

日時 2015年5月30日(土)

11時～

会場 普連土学園新渡戸稲造ホー

ル/ローズホール

第一部では礼拝と校長先生の学校報告の後、事務会になります。事務会では2014年度の年次報告と決算、2015年度の年次計画案が議題です。事務会後の催し物は準備中です。

第二部はローズホールで昼食、歓談とコーラス、校歌で閉会します。

## ◆事業委員会よりお知らせ

### ◆勉強会

「信じる事から始まる教育」

講師 太田信雄先生

日時 2015年3月14日(土)

13時開場/13時30分開演

場所 普連土学園A音楽室

一昨年のクリスマス礼拝のお話が非常に好評で、聞きそびれた方、もう一度お聞きしたい方たちからのご要望が多く、改めて機会を設定いた

しました。今回は、聖書「ヘブライ人への手紙十一章一節」を取り上げて、お話しけるとの事。どうぞ、期待してお越し下さい。

(太田信雄先生：38年間学園の教師を務められ、現在は高3の選択宗教担当で体操部の顧問)  
※入場無料/事前申込み不要

## ◇来年度ドリム企画◇

### ◆コンサートのお知らせ

今静かなブームを呼んでいる、男性オペラ歌手5人組のユニット「レジェンド」



(レジェンド)

かねてより、その高い音楽性とクラシックでありながら楽しさいっぱいのステージパフォーマンスで多くの観客を惹きつける彼らを学園のコンサートに呼び出したいと計画して参りましたが、とうとう実現することになりました。

詳細は追ってお知らせ致しますが、まず、左記に第一報。

今年の11月21日は、素敵な彼らと共に時を過ごす日と、どうぞ今からご予約ください。

### 記

日時 2015年

11月21日(土)

場所 普連土学園

新渡戸稲造ホール

※チケット(代金未定)は、5月の校友会総会より発売予定

### ■ 訃 報 ■

謹んでお知らせ申し上げ、心より哀悼の意を表します。

- 41 竹内シゲ子(元木) 14・6・18
- 42 バンディ宏子(小村) 14・6・5
- 44 太田 好子(太田) 14・5・4
- 45 成田 寿子(太田)
- 46 岡崎 光子(野田) 14・9・10
- 47 岸本 照子(今井) 14・7・19
- 49 高山 直子(北村) 13・12・4

- 49 三吉 寿子(阿部) 14・8・23
- 49 伊藤 貞子(小野) 14・9・24
- 50 小林 愛子(沖山) 13・11・4
- 50 浅野 定子(貴志) 14・5・23
- 52 A 村山 サキ(小野)
- 52 A 天野 信子(佐藤) 14・1・24
- 52 A 五島万紗子(五島) 14・5
- 52 B 岩田 良子 14・2・12
- 54 笠野 昭子(平田) 14・11・17
- 55 内藤 久子(横川) 14・5・26
- 56 B 本坊久枝(佐々木) 14・5・24
- 59 山本 幸子(門野) 14・6・10
- 65 吉田 純子(吉田) 14・5・30
- 75 五島 陽子 13・7・24
- 80 村田 雅未(水野) 14・3・7
- 83 木内 明美(加藤) 13
- 99 萩野 まや 14・5・17

### 編集後記

今年もまた、入試のシーズンが近づきました。インフルエンザが流行したり寒さも厳しい中、元気に取り組んで欲しいと心から願っております。間もなく希望に溢れる新校友生をお迎えする春が楽しみです。

毎度のことですが、ご意見・ご感想を是非お寄せ下さい。

(千田・田中・鈴木・森本・川上・今奈良)